



# 1. 団体の概要紹介

### 創立年

2008年

創立当初はメンバー8名

本年度登録人数

42名

4年次生:5名、3年次生8名 2年次生:12名、1年次生17名

### 1. 団体の概要紹介

### 目的

- •「学生の利用しやすい図書館」を目指す
- ・学生との相互理解をより一層深める
- ・C3のメンバーは、図書館利用促進のための各種イベントの企画、立案、実行を通して、情報収集能力やコ

ミュニケーションスキルを習得する

# 1. 団体の概要紹介

### 「C3」って?

Chance

Challenge

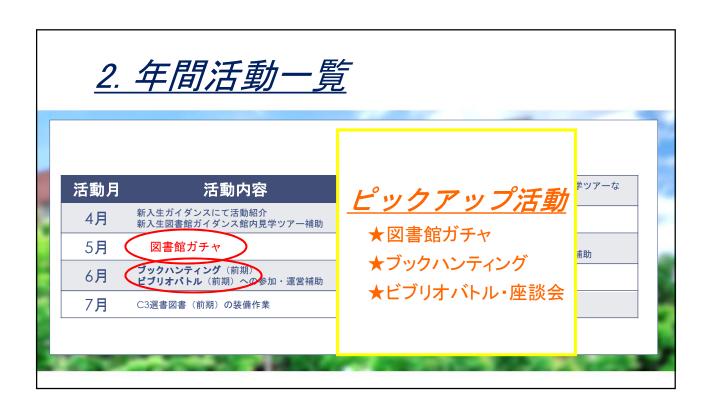
Change

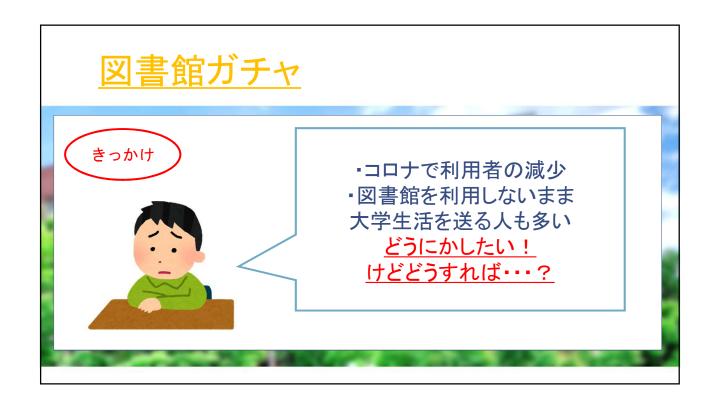
与えられたChanceを活かし、積極的にChallengeしていくことで、大好きな図書館をより多くの人に好きになってもらえるようにChangeさせていこう!

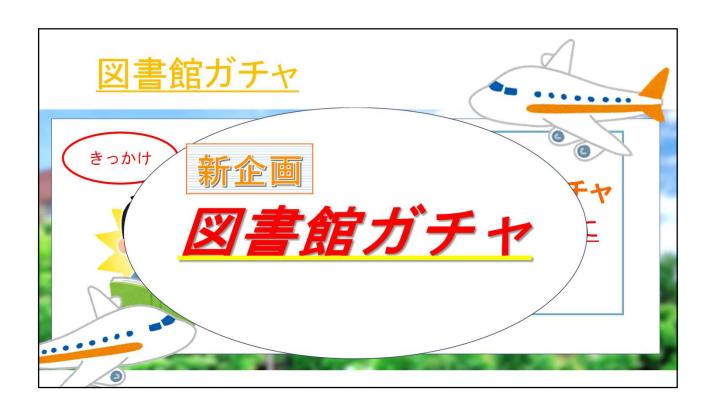
# 2. 年間活動一覧

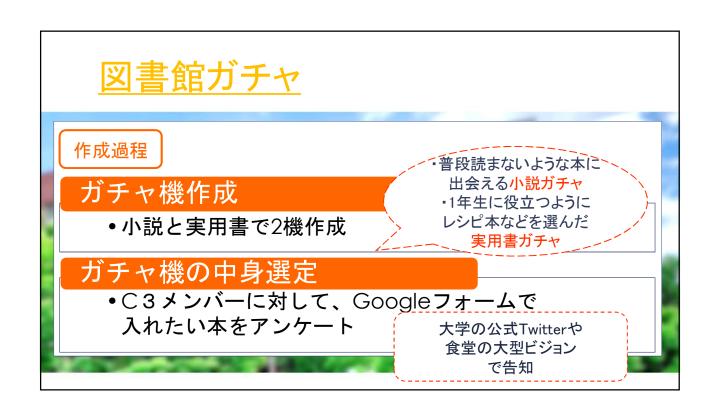
活動月	活動内容
4月	新入生ガイダンスにて活動紹介 新入生図書館ガイダンス館内見学ツアー補助
5月	図書福袋(前期)
6月	ブックハンティング(前期) ビブリオバトル(前期)への参加・運営補助
7日	C3選書図書(前期)の装備作業

8月	オープンキャンパス運営補助(図書館見学ツアーなど)
9月	学生協働交流シンポジウムへの参加
10月	ブックハンティング(後期) ビブリオバトル(後期)への参加・運営補助
11月	図書福袋(後期)
12月	C3選書図書(後期) の装備作業









# 図書館ガチャ

### 成果







2週間の設置で14冊の貸し出し アンケートも8枚回収

# 図書館ガチャ

### 振り返り

- ・小説のガチャ機の利用がほとんど
- ・中身の図書リストを作った方がよい
- 学部ごとにお勧めの学術書をガチャの中身にする
- ・普段から本を読む人向けの企画に近くなってしまい、利用者の 増加につながったとは言い難い

# 図書館ガチャ

### 改善案

- ・中身の図書リストを作成する
- ・学部ごとの学術書を中身にする→可能か?

全学部同時開催は労力的に難しい 長期休みやテスト期間などの開催 図書を1か月拘束してしまう

# <u>ブックハンティング</u>

### ブックハンティングとは

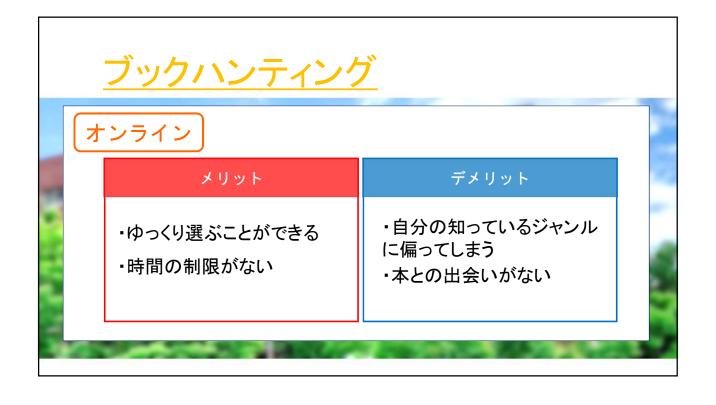
- ◆学生が書店に出向き、図書館 に所蔵する図書を学生の視点 から選んでもらうという試み
- ◆松山大学図書館では、C3メンバーがブックハンティングを行う

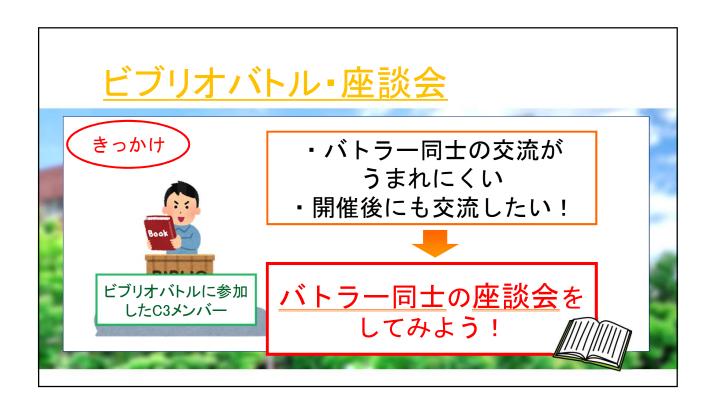






# ブックハンティング 対面 メリット ・実際に書店に行き、見ながら選ぶことができる・自分が知らない本と出会うことができる







# 3. 前期の振り返り

- ◆コロナ禍の中で、図書館ガチャやハイブリッド型ブックハンティング、座談会など例年とは違う活動を、メンバーからの発案により実施することができた
- ◆コロナ禍での活動が中心だったため、活動制限がある現状に対して不満を感じていないメンバーが多い
- ◆後期に向け、Googleフォームの活用などの改善例もあるが、 さらに活動内容に対して積極的に意見を集約したい
- ◆C3によるC3のための活動に向けた取り組みを行いたい